

情報公開用文書（茅ヶ崎市立病院で実施する医学系研究）

<p>■研究課題名</p>	<p>『内視鏡的経乳頭的胆嚢ドレナージにおける新規ガイドワイヤーの治療成績』</p>
<p>■研究の対象</p>	<p>2019年7月1日から2021年10月31日までに当院において急性胆嚢炎と診断され、内視鏡的経乳頭的胆嚢ドレナージを目的として検査施行された方を対象とします。</p>
<p>■研究目的・方法</p>	<p>急性胆嚢炎に対する初期治療として、内視鏡的経乳頭的胆嚢ドレナージは外科手術による胆嚢摘出術や経皮経肝胆嚢ドレナージと比較して生理的な経路を介して胆嚢ドレナージが行うことができるため有効な治療法ではありますが、治療の難易度が高く、成功率が前述の治療より低いとされています。本研究は、急性胆嚢炎を発症した方に対して内視鏡的経乳頭的胆嚢ドレナージによる、手技の成功や胆嚢炎の治癒に影響を及ぼす要因について考察し、治療における成功因子を検討することをその目的としています。</p>
<p>■研究期間</p>	<p>2021年 倫理審査委員会承認日 ~ 2023年6月30日</p>
<p>■研究に用いる 試料・情報の種類</p>	<p>診療情報より以下の項目に関して調査、比較し解析を行います。・背景情報(年齢、性別など)・胆嚢炎重症度・内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査の検査内容・全検査時間・偶発症の有無・治療から症状改善までの治療期間・入院期間・内視鏡写真やレントゲン写真などの画像データ。 ※新規または追加の検査や治療は行いません。</p>
<p>■試料・情報の 取得と保管方法</p>	<p>上記の対象期間中に診療録に記載された診療情報を研究に使用させていただきます。本研究で取り扱う患者さんの情報は、個人を特定することができないよう識別番号(ID)を以て匿名化したうえで管理します。電子カルテ等から収集された診療情報は、パスワードを設定のうえ院内PCのファイルサーバーへ記録し、紙媒体に関しては、施錠のできる保管庫において厳重に管理します。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則り、個人情報個人情報管理責任者の管理のもと、厳重に保護した状態でを行います。</p>
<p>■外部への 試料・情報の提供</p>	<p>医学に関する学会等にて発表し、最終的に学術論文化いたします。その際、データは個人が特定されない方法・内容に限るものとします。</p>
<p>■研究組織</p>	<p>茅ヶ崎市立病院 消化器内科, 独立行政法人国立病院機構横浜医療センター 消化器内科.</p>

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで、電話またはFAXにてお申し出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはございません。

お問い合わせ先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先:

〒253-0042 茅ヶ崎市本村5-15-1
茅ヶ崎市立病院消化器内科 (研究責任者) 辻川 真太郎
電話番号:0467-52-1111(代表) FAX:0467-54-0770